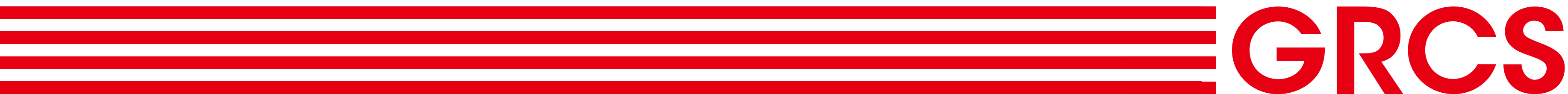


2026年11月期 第2四半期

決算説明資料

株式会社GRCS 証券コード：9250

2026年7月15日



免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

アジェンダ

1. 2026年11月期 第2四半期 決算概要
2. 事業別進捗状況
3. 2026年11月期 通期業績予想
4. 会社概要

1. 2026年11月期 第2四半期 決算概要

2026年11月期
第2四半期実績

案件の深耕、アジア市場の新規案件獲得により四半期売上高は過去最高
上期は計画通り推移

売上高

1,743 百万円

前年同期比 8.8 % 増

売上総利益率

26.4 %

前年同期比 3.1pt 減

EBITDA ※

18 百万円

前年同期比 3 百万円 増

営業利益

△ 48 百万円

前年同期比 47 百万円 増

通期見通し

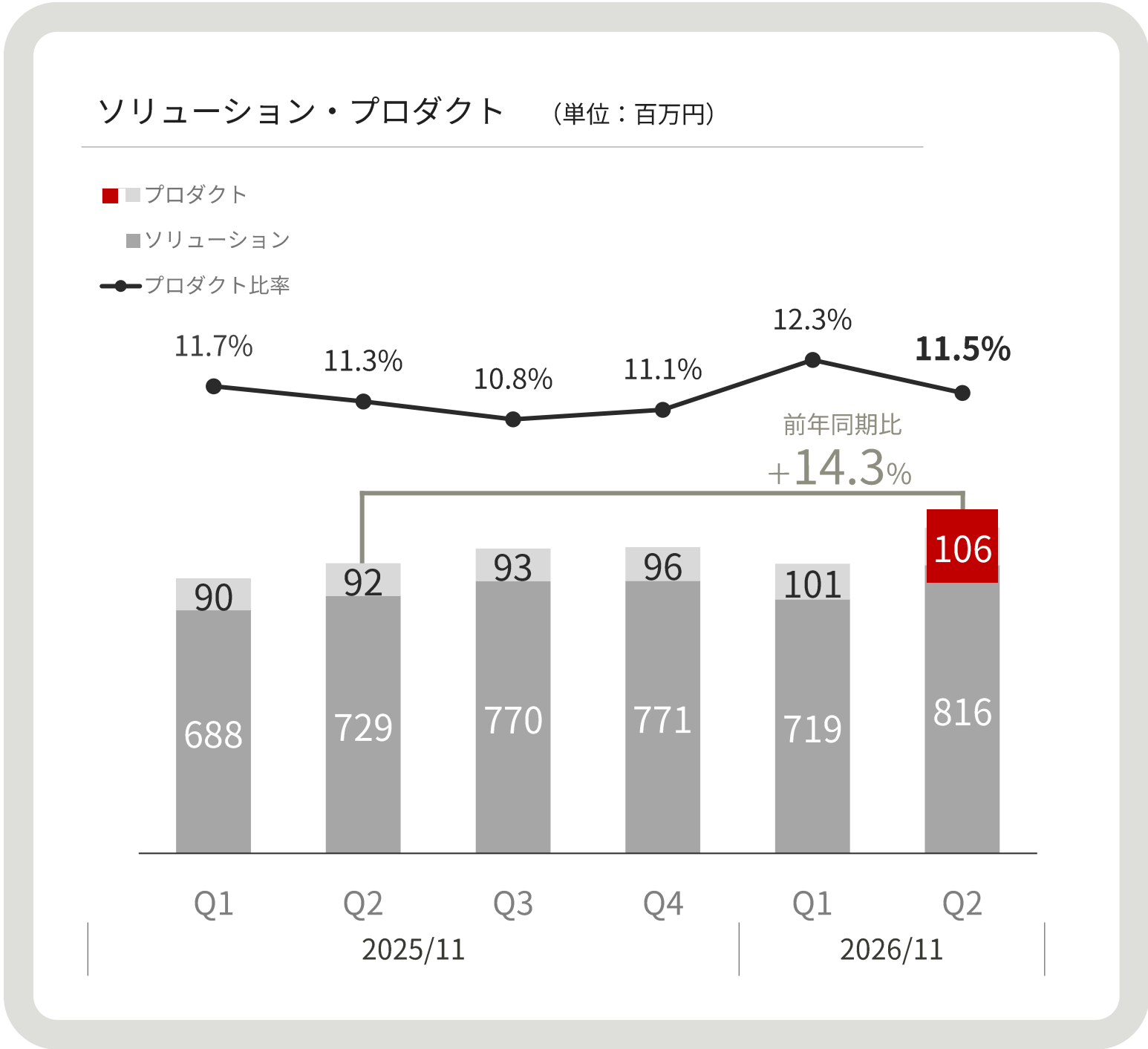
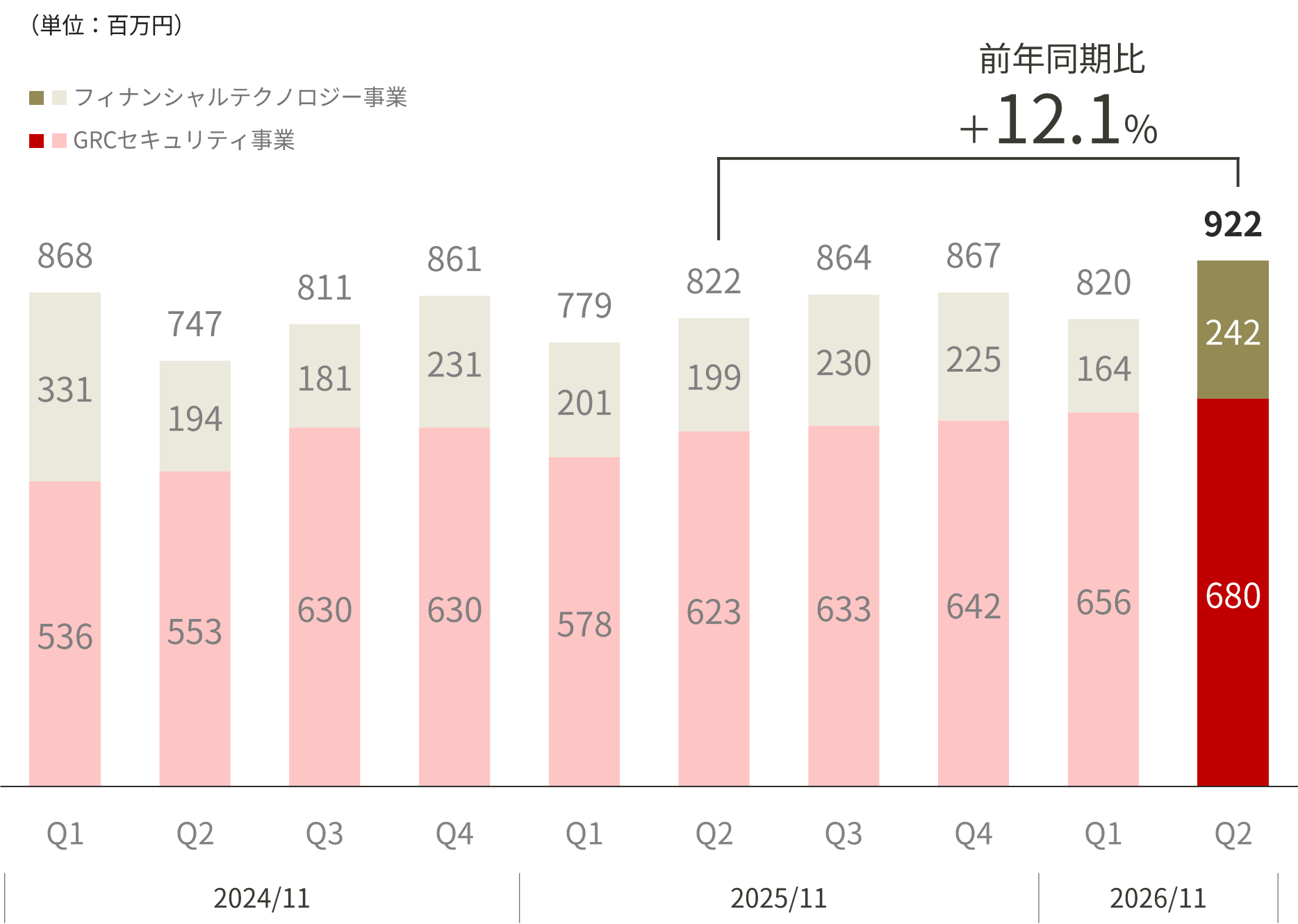
- ✓ AI関連サービスの開発・提供、フィナンシャルテクノロジー事業のアジア展開拡大などにより、通期では計画達成の見通し
- ✓ 株式会社フィックスターズとの独自AIモデル共同開発プロジェクトは、今期中のリリースに向けて順調に推移

※：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

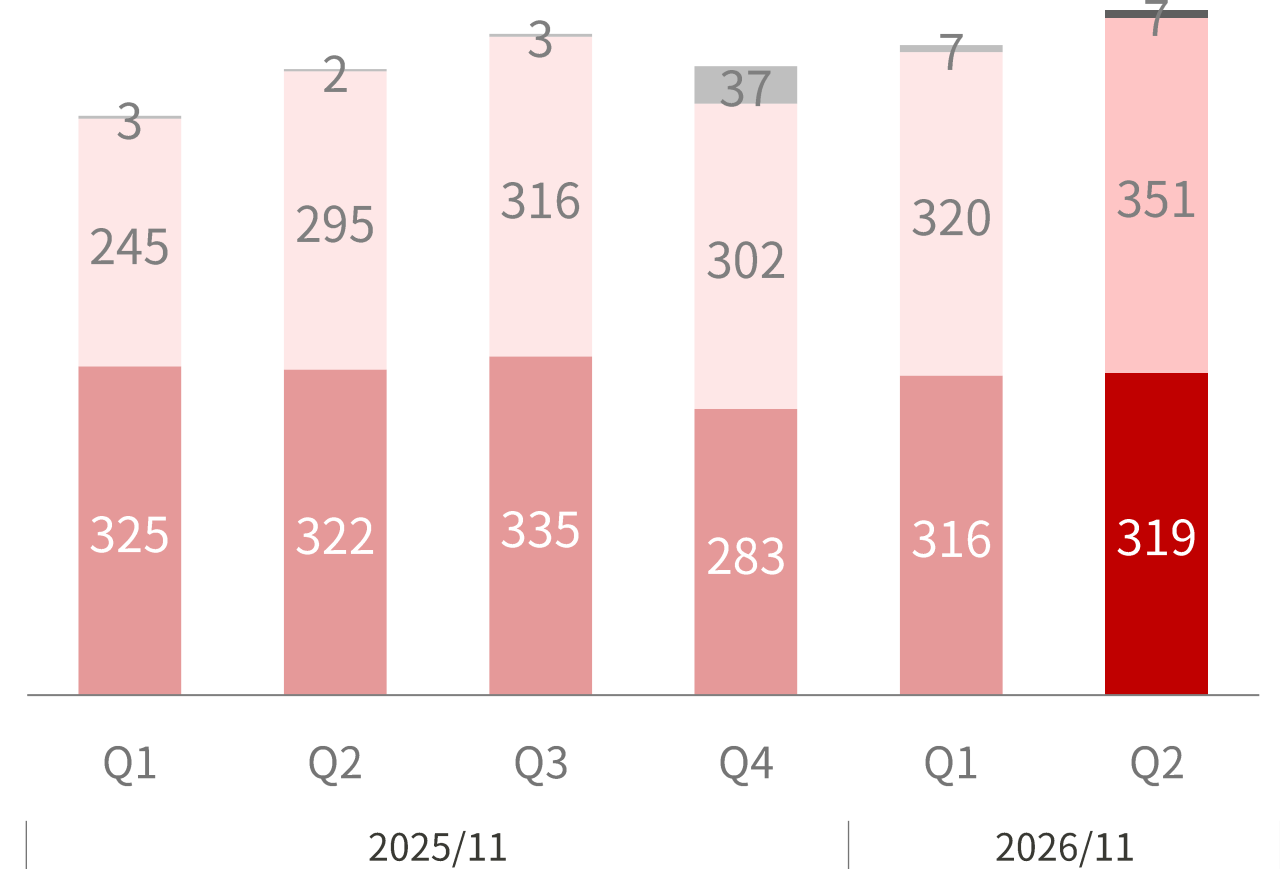
(単位：百万円)	2025/11 Q2	2026/11 Q2	増減額	増減率	2026/11 通期業績予想	進捗率 (通期業績予想比)
売上高	1,601	1,743	141	8.8%	3,678	47.4%
売上総利益	471	459	△12	△2.6%	1,087	42.2%
売上高総利益率	29.4%	26.4%	△3.1pt	—	29.6%	△3.2pt
販売費及び一般管理費	567	507	△59	△10.5%	968	52.4%
EBITDA	14	18	3	25.9%	235	7.9%
営業利益	△95	△48	47	—	119	—
経常利益	△109	△60	48	—	100	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△84	△57	27	—	67	—

※：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

- ✓ 四半期の売上高としては前年同期比12.1%増で過去最高
- ✓ GRCセキュリティ事業では旺盛な需要を背景として取引規模が拡大、フィナンシャルテクノロジー事業ではアジア案件が急伸長
- ✓ プロダクト売上高は前年同期比14.3%増



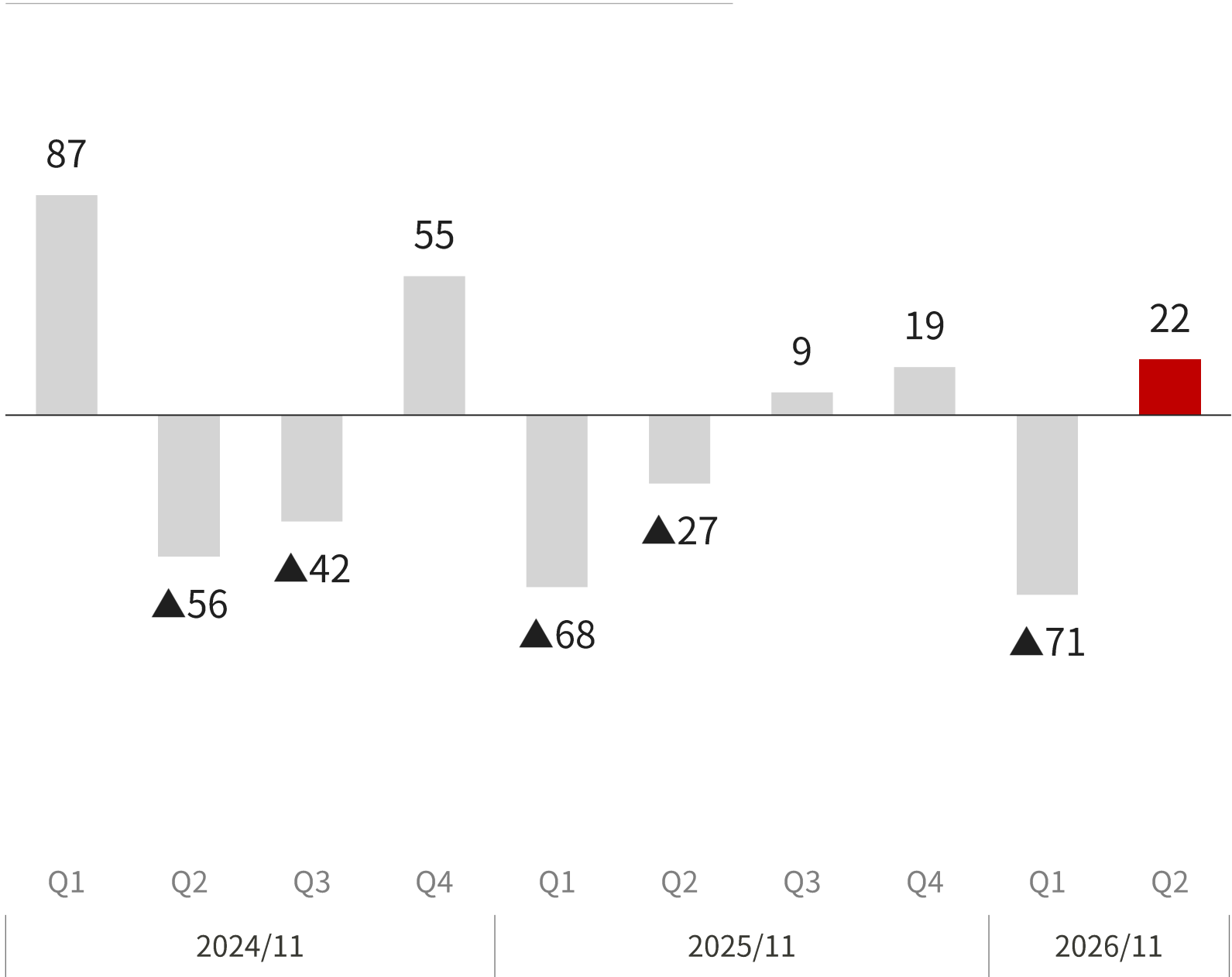
- (単位：百万円)



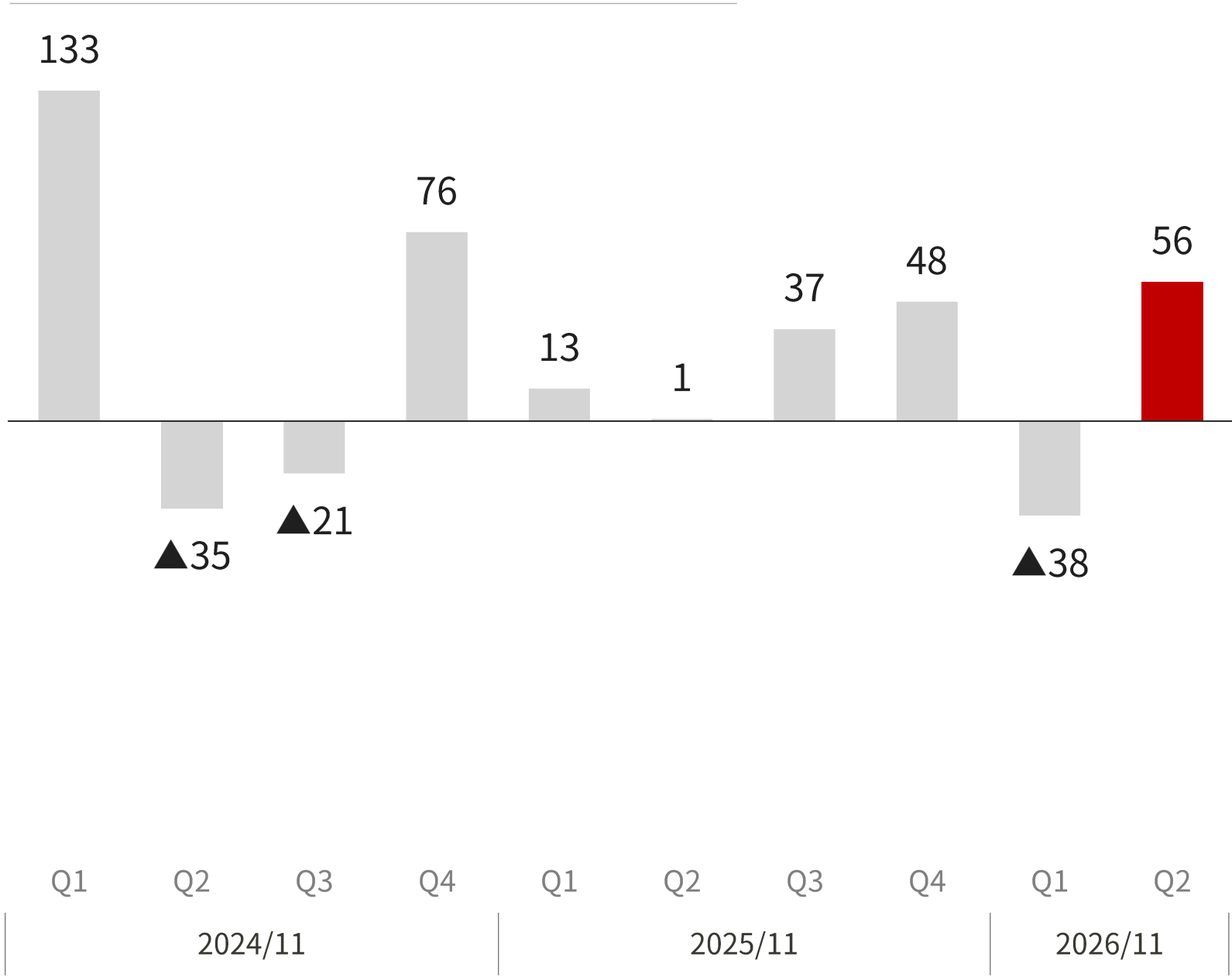
3

✓ 売上高の計画通りの推移と販売費及び一般管理費推移の抑制が寄与し、営業利益およびEBITDAは期初計画を上回る着地

営業利益（単位：百万円）



EBITDA（単位：百万円）

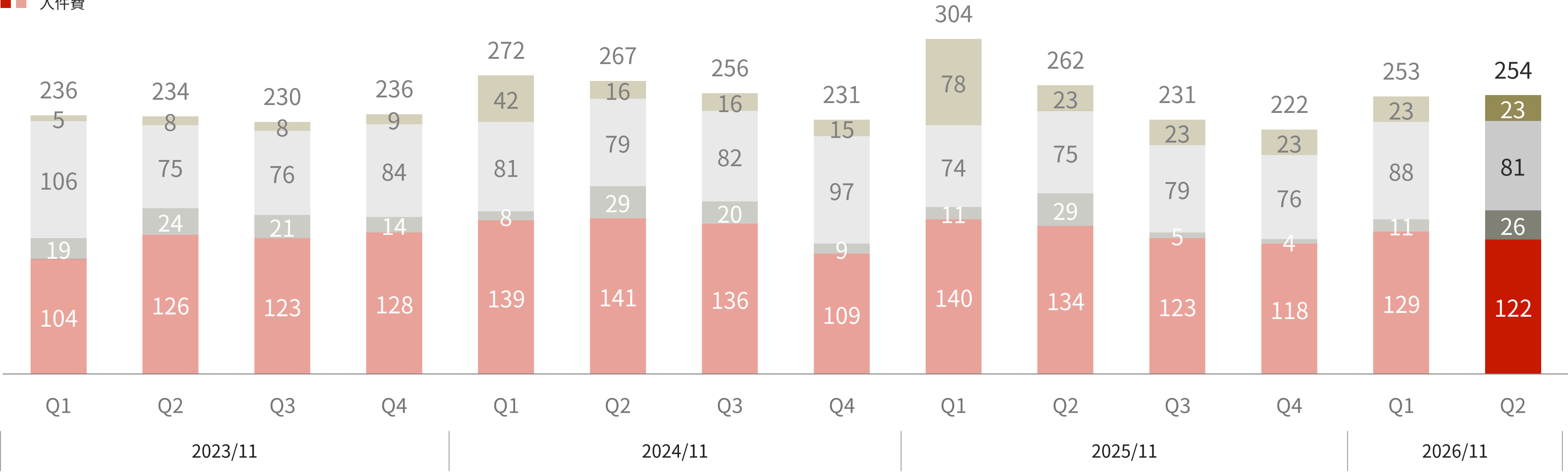


※：EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

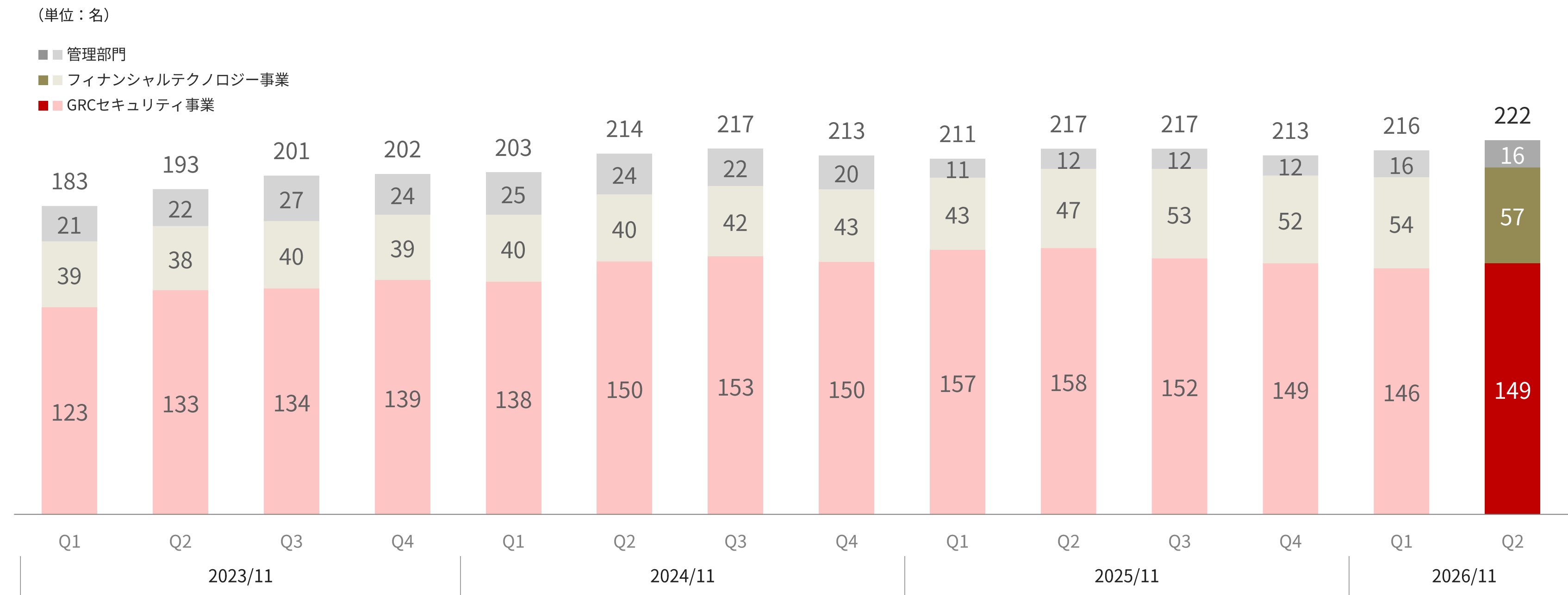
- ✓ 成長基盤の構築に向け採用活動は順調に進展
- ✓ 引き続き間接コストの効率化と適正化を継続

（単位：百万円）

- のれん償却額
- その他
- 採用教育費
- 人件費



- ✓ GRCセキュリティ事業は採用活動は計画通り推移、人員体制は今後拡充の見通し
- ✓ フィナンシャルテクノロジー事業は案件拡大に伴い増員



※：今期より2事業に区分しており、過年度に遡及して表示しております

- ✓ 2026年5月末に債務超過は解消
- ✓ 引き続き財政基盤の安定化に向け収益構造の改善ならびに資本増強施策を推進

(単位：百万円)	2025/11 通期実績	2026/11 2 Q末実績	増減額
流動資産	1,069	1,109	39
現金及び預金	530	448	△82
固定資産	643	643	0
資産合計	1,713	1,753	39
流動負債	927	1,093	165
固定負債	881	656	△225
負債合計	1,809	1,749	△59
株主資本	△136	△29	106
純資産合計	△95	3	99
負債・純資産合計	1,713	1,753	39

- ✓ スペシャリストを集結させた子会社を2026年4月に設立
- ✓ グループ全体の競争力強化を推進
- ✓ 2026年8月より事業開始

新会社の基本情報

名 称：株式会社GRCSテクノロジーズ

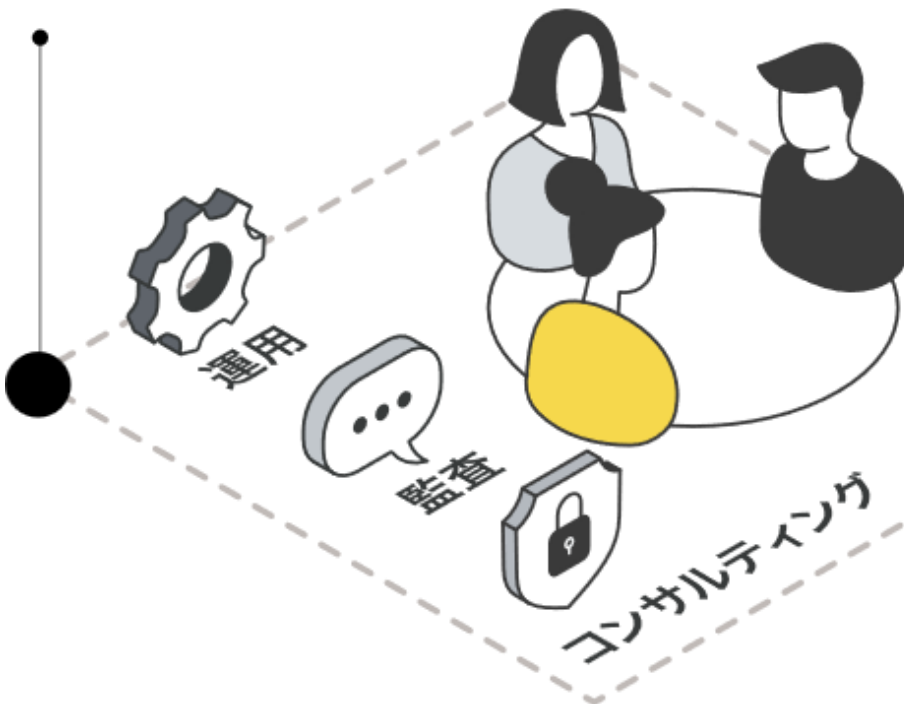
資本金：30百万円

主な事業：GRCセキュリティコンサルティング、トレーニングなど

設立の目的と戦略的意義

スペシャリストの集約と育成

コンサル、運用、監査などのスペシャリストを集結、専門ノウハウを集約・体系化し他社との差別化を図ります。

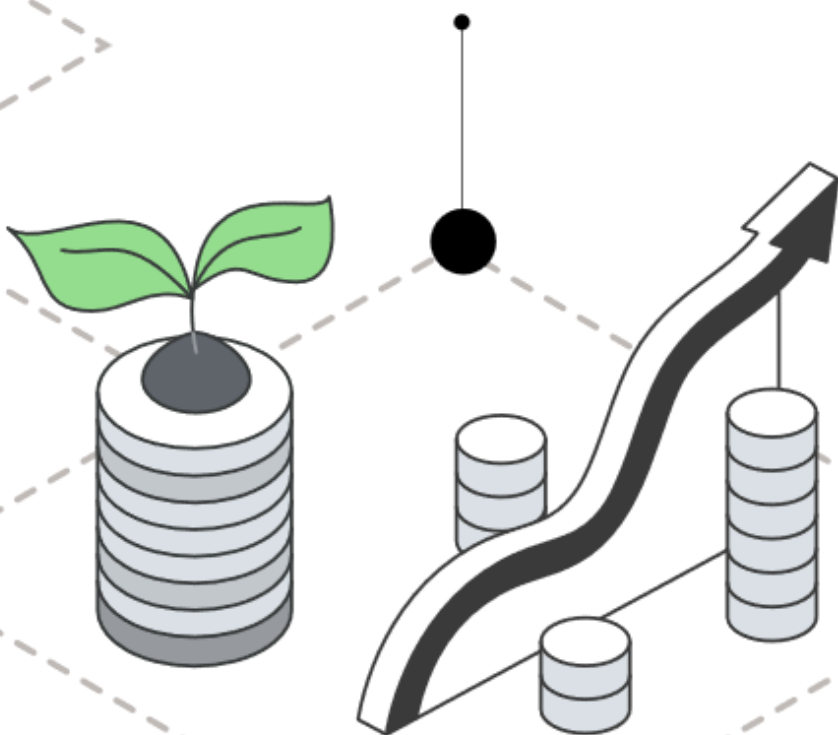


採用競争力と市場価値の向上

専門会社化により採用力を強化し、即応性の高いサービス提供を通じてグループの収益力を高めます。

持続的な収益改善と成長の実現

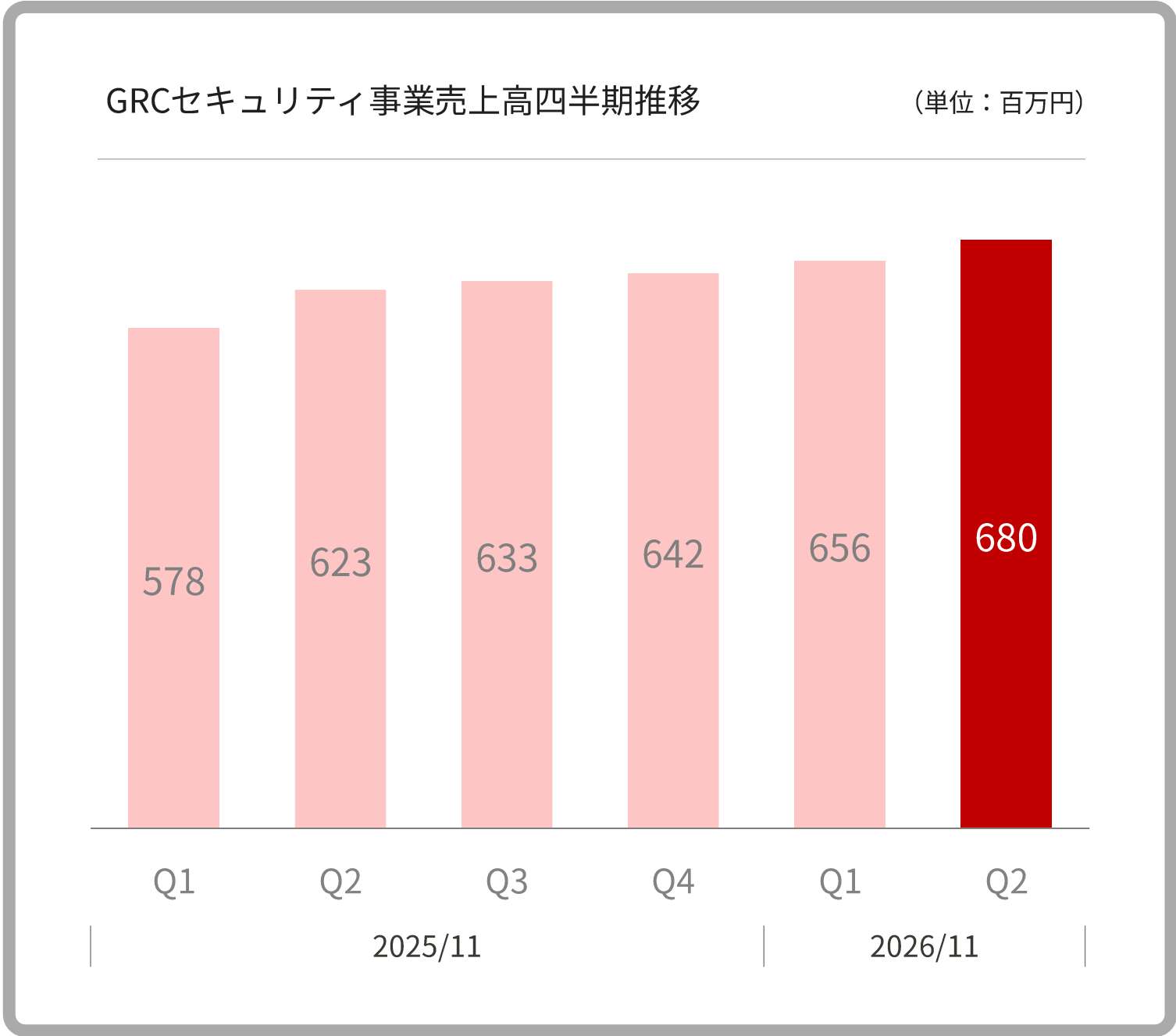
当社グループの持続的な収益改善を図りつつ、「GRCセキュリティ領域のリーダー」という目標を実現します。



2. 事業別進捗状況

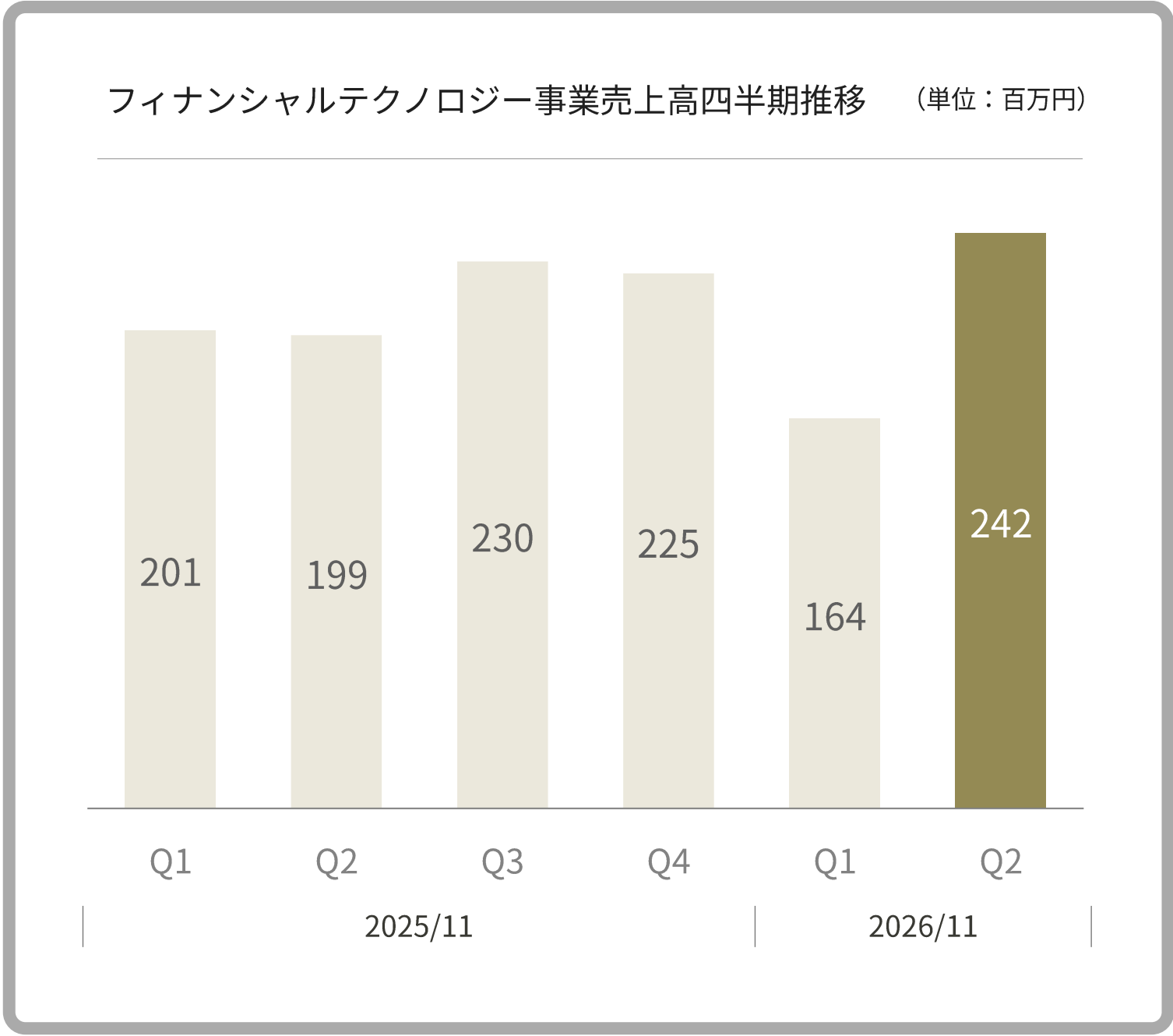
- ✓ 既存顧客における案件拡大により、売上高は前年より11.2%増
- ✓ 売上高総利益率は概ね計画通りの推移

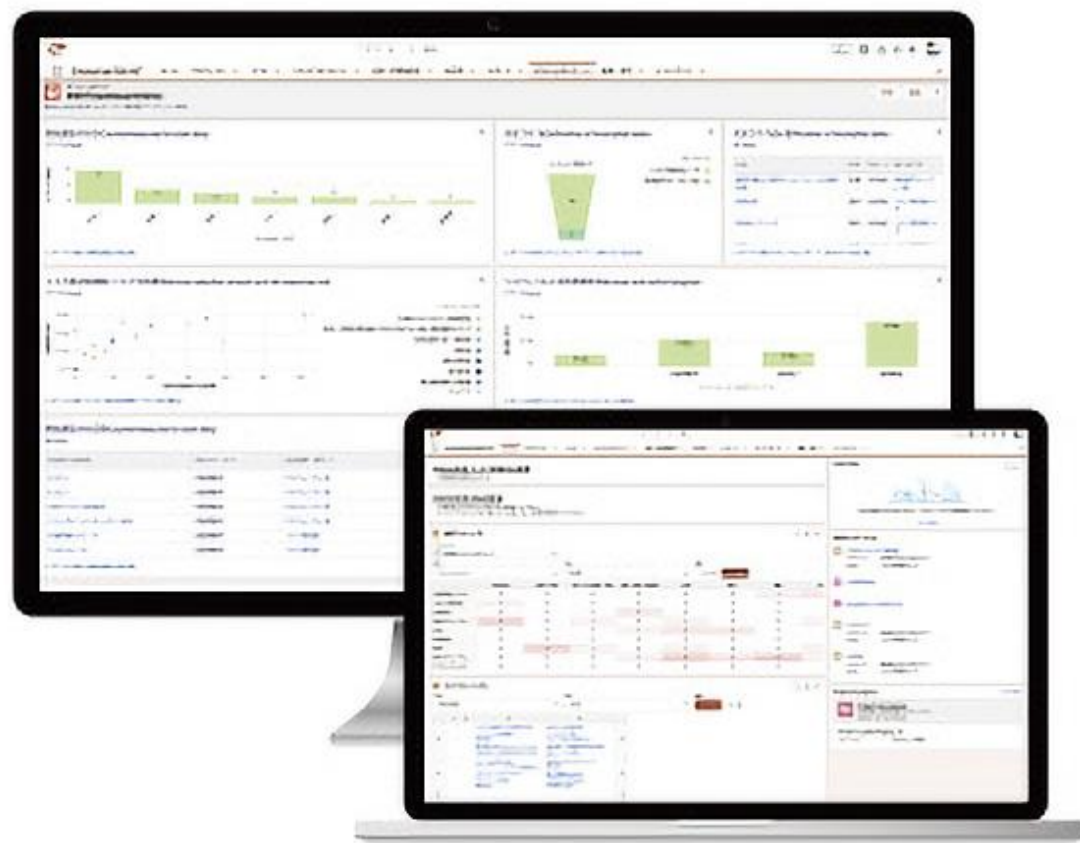
(単位：百万円)	2025/11 Q2	2026/11 Q2	増減額	増減率	2026/11 通期業績予想	進捗率 通期業績予想比
売上高	1,201	1,336	134	11.2%	2,676	49.9%
売上総利益	348	356	8	2.3%	714	49.9%
売上高 総利益率	29.0%	26.7%	△2.3pt		26.7%	±0.0pt



- ✓ Q2にてアジアにおける新規大型案件を受注
- ✓ 引き続き既存顧客案件を堅守しつつ、下期はアジアにおける更なる新規案件の獲得を見込む

単位：百万円	2025/11 Q2	2026/11 Q2	増減額	増減率	2026/11 通期業績予想	進捗率 通期業績予想比
売上高	400	406	6	1.5%	1,001	40.6%
売上総利益	123	102	△20	△16.5%	373	27.5%
売上高 総利益率	30.7%	25.3%	△5.5pt		37.3%	△12.0pt





SOMPOリスクマネジメントとERM分野で協業開始 企業のリスクマネジメント体制の構築を支援

- 全社的リスクマネジメントツール「ERMT」がSOMPOリスクマネジメントのコンサルティングと融合し、日本企業のERM高度化に貢献
- 協業の第一弾として共催ウェビナーを実施





経済産業省が推進するサプライチェーン全体のセキュリティ水準向上を目的とした新たな評価制度「SCS評価制度」に対応

2026年度末の制度開始を見据え、企業の「★3」取得に向けたギャップ分析サービスを開始

- 公表されている評価基準案に基づき、組織・体制、ツール、ドキュメント、運用の4つの観点から企業の現状を評価。
- 「セキュリティ要求事項・評価基準の現状把握報告書」を作成し、改善策を専門家が解説。
- 企業の現状の課題に合わせたドキュメント整備やセキュリティソリューションの導入・構築などの一貫した支援もオプションとして提供
- 「★4」の取得を目指す企業向けに個別相談を提供

AIによるオペレーションの自動化と専門家チームの 高度なサポートをBPaaSモデルとして融合

高品質かつスマートなリスク管理を包括的にサポート



 SUPPLIER RISK MT  CSIRT MT.mss

- 「Supplier Risk MT」や「CSIRT MT.mss」の契約企業を対象に、定期アセスメントの回収・集計やインシデント情報のフィルタリングなどの運用に伴う実務プロセスをAIと専門家チームが代行。
- 単なる業務代行にとどまらず、AIによるオペレーションの自動化とダッシュボードによる可視化を組み合わせることで、「専門知識が必要」「管理が大変」という企業の課題を解決し、実効性の高いリスク管理を身近なものとして提供。

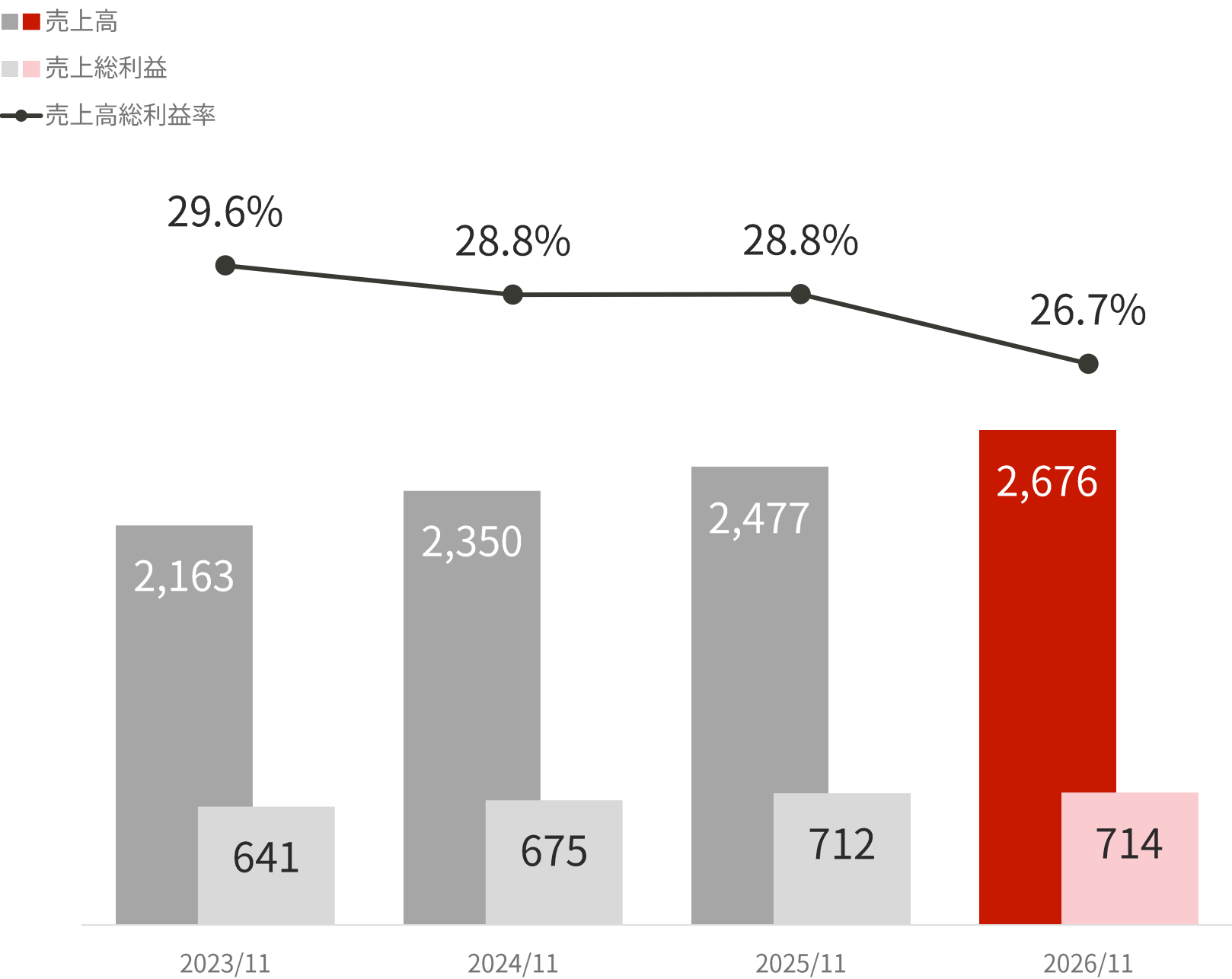
3. 2026年11月期 業績の見通し

- ✓ 上期は売上高、利益面ともに計画通り進捗
- ✓ フィナンシャルテクノロジー事業は事業特性により利益計上が下期偏重
- ✓ 通期では売上高および各段階利益も計画達成を見通す

(単位：百万円)						
	2025/11	構成比	2026/11 業績予想	構成比	増減額	前期比
売上高	3,333	100.0%	3,678	100.0%	344	110.3%
GRCセキュリティ	2,477	74.3%	2,676	72.8%	199	108.0%
フィナンシャル テクノロジー	856	25.7%	1,001	27.2%	145	116.9%
EBITDA	100	3.0%	235	6.4%	134	234.5%
営業利益	△67	—	119	3.2%	187	—
経常利益	△97	—	100	2.7%	198	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△527	—	67	1.8%	595	—

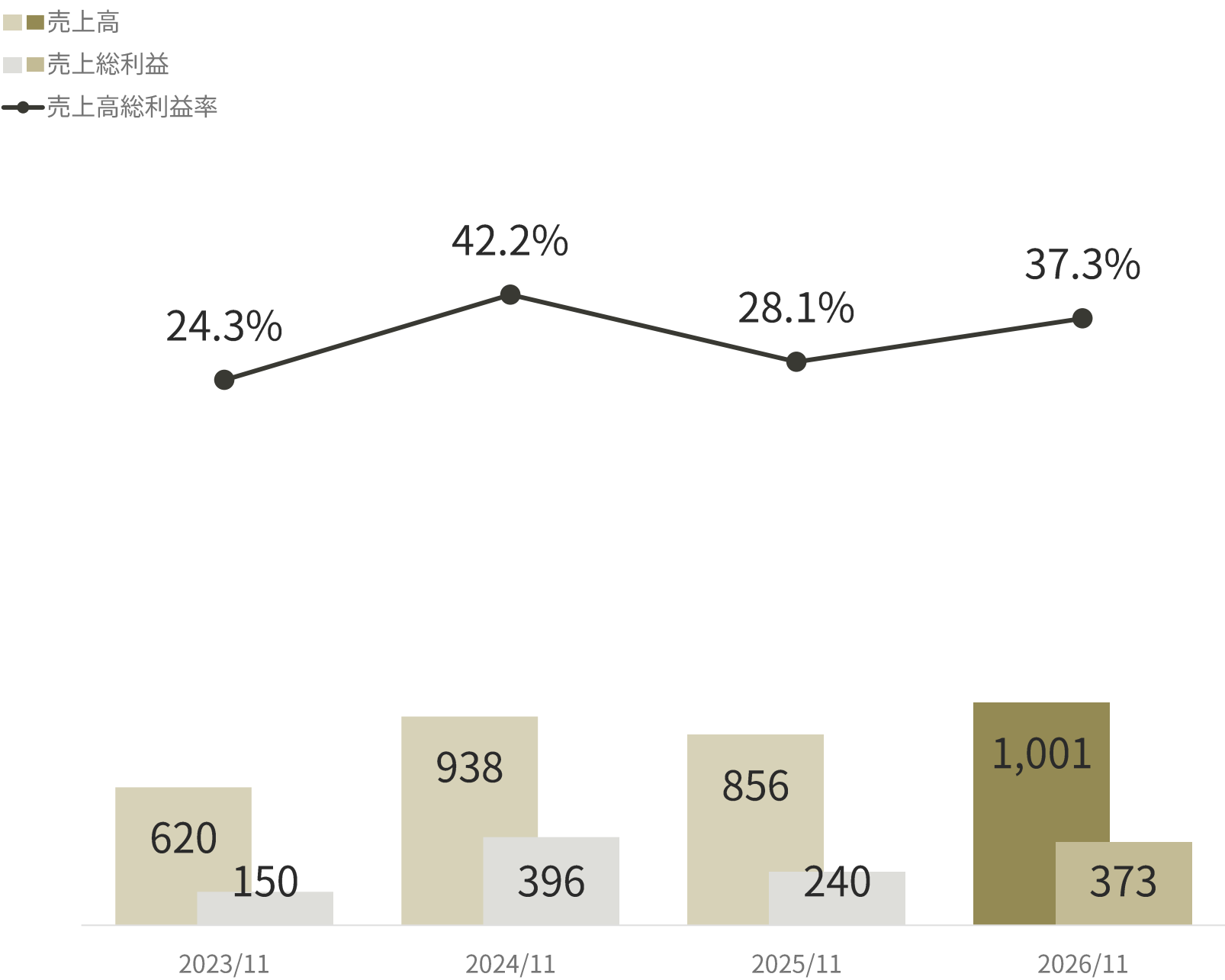
GRCセキュリティ（単位：百万円）

- ✓ 売上高は実績をふまえた堅実な計画設計
- ✓ 自社プロダクトのAI開発投資に伴う売上高総利益率の低下



フィナンシャルテクノロジー（単位：百万円）

- ✓ 既存顧客基盤の維持拡大を堅実に進行
- ✓ リカーリングモデルの拡大により収益性向上



4. 会社概要

進化に、加速を。

MISSION

私たちの使命は、進化を加速させ、自身も社会も成長させることです。
複雑に変化し続ける世の中で直面する多種多様なリスクへ敏感に迅速に対処するために
私たちは常に新しいことに挑戦し、進化し続けることで
クライアントが安心できるビジネス環境を提供し持続的な企業成長を支えます。

世の中を、テクノロジーでシンプルに。

VISION

私たちが目指すのは、テクノロジーによって「複雑さ」をなくした社会です。
G：ガバナンス、R：リスクマネジメント、C：コンプライアンス、S：セキュリティ領域における
複雑な課題をテクノロジーの活用によってシンプルに解決します。

会社名

株式会社GRCS

役員体制

代表取締役社長 佐々木慈和

設立

2005年3月

取締役 塚本拓也

決算期

11月

取締役 田中郁恵

資本金

131百万円（2026年5月31日時点）

取締役 望月淳

所在地

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
パレスビル5階

社外取締役 久保恵一

従業員数

213名（2025年11月末時点・連結）

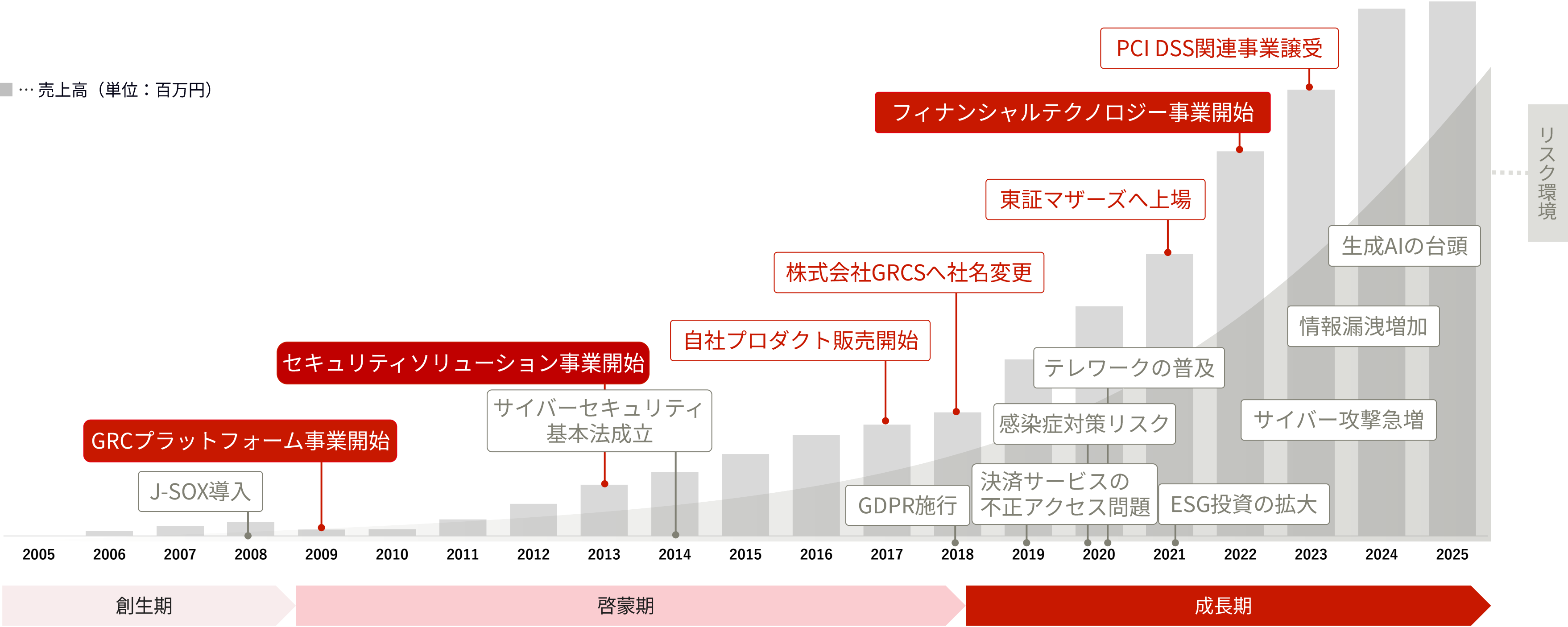
社外取締役 山野修

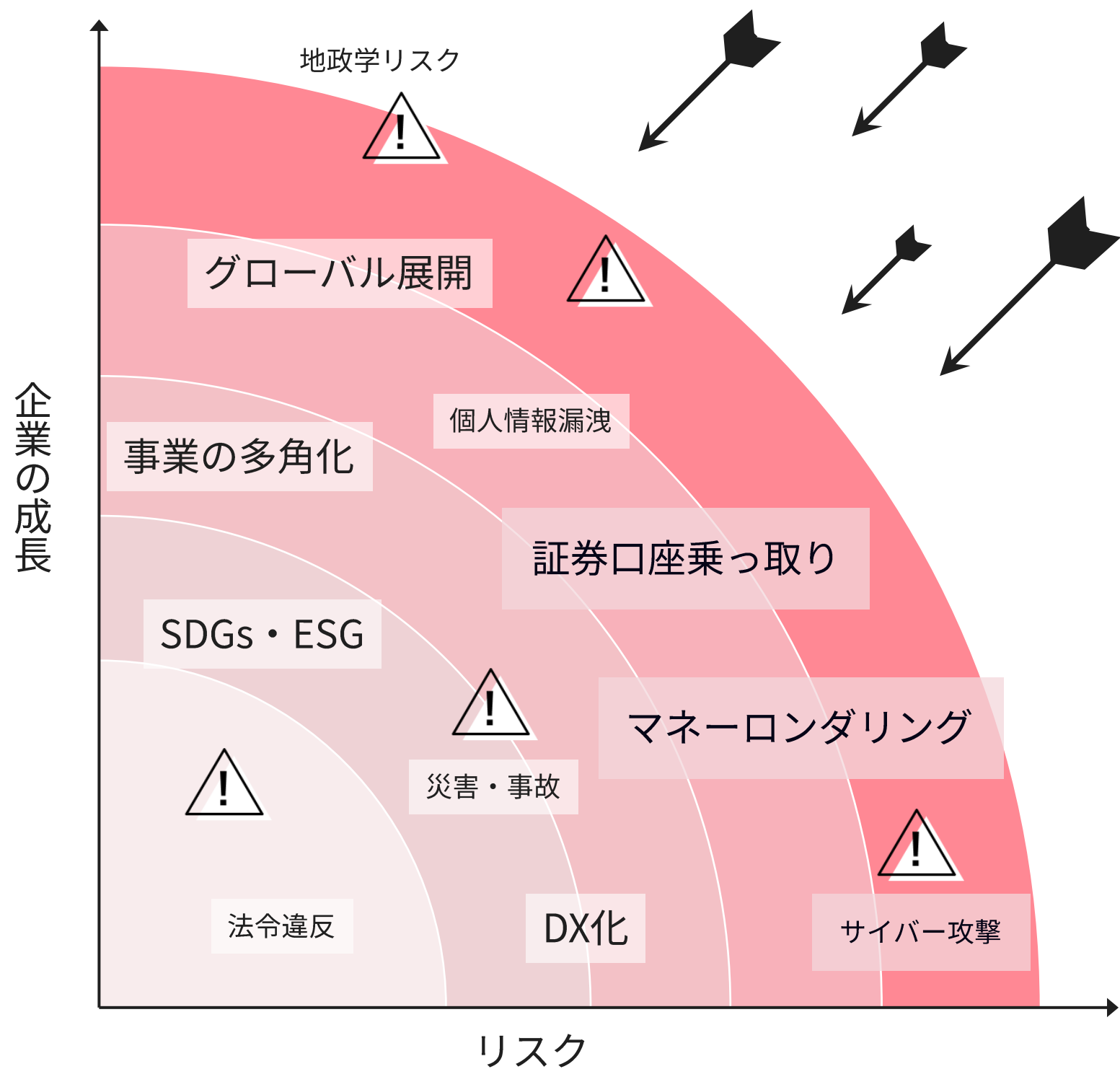
監査役 佐藤尚人

監査役 島田容男

監査役 伊賀志乃

- ✓ リスク環境の変化に応じたサービスを展開し成長
- ✓ 2009年にGRCプラットフォーム事業を開始し、以降の2013年セキュリティソリューション事業開始、2022年フィナンシャルテクノロジー事業開始を経て16期連続増収





企業の成長とともにさらされる脅威も増える

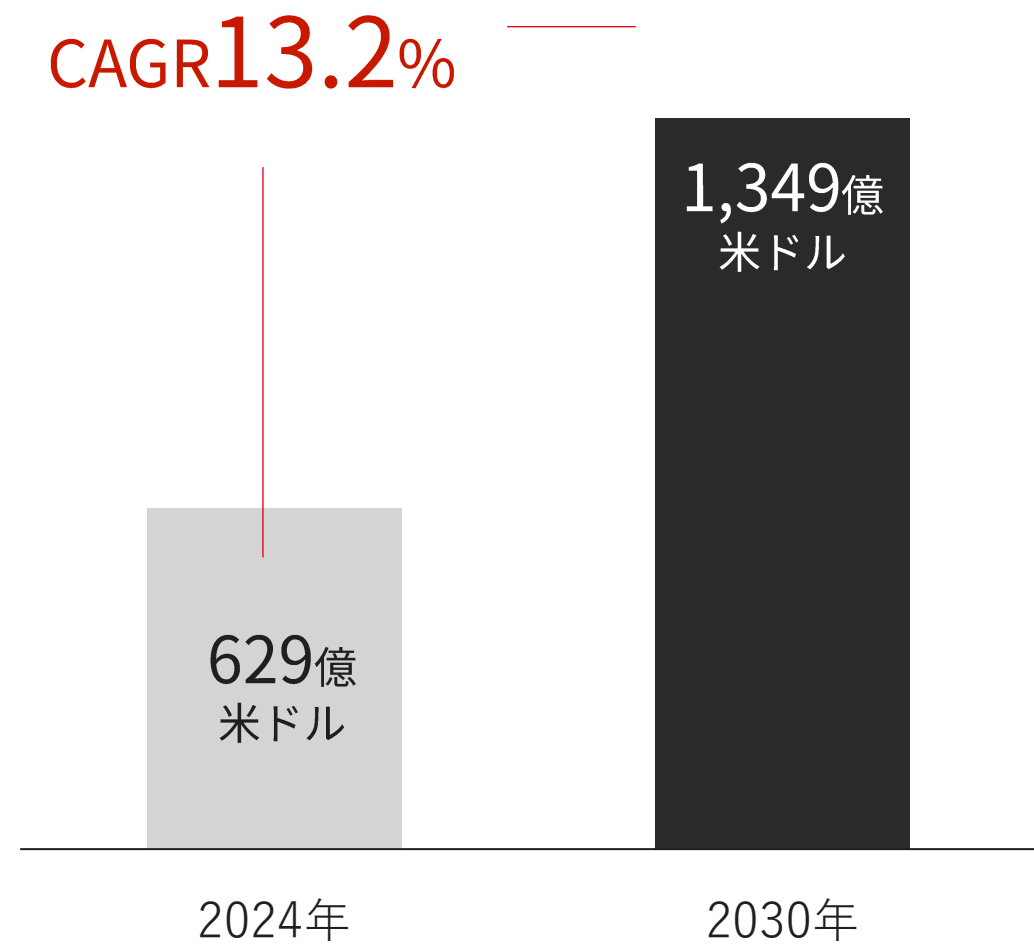
日本の企業は守備体制の構築が不十分

リスクを減らし、企業成長の **最大効率化** を支援します

G	ガバナンス 体制の構築
R	リスク マネジメントの強化
C	コンプライアンス 意識の向上
S	セキュリティ 対策の支援

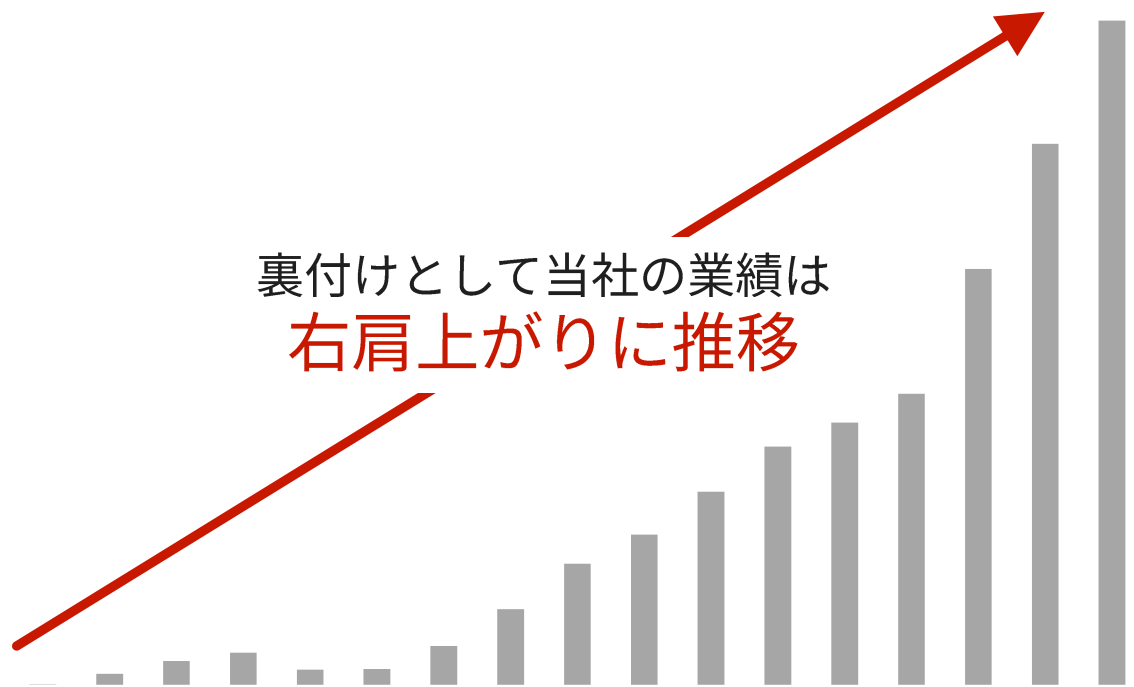
- ✓ 国内のGRC市場についてまだ数字はないが、GRCとセキュリティの対応は企業経営における喫緊の課題
- ✓ 世界のGRC市場は年平均13.2%の成長と予想されており、日本においても同様の成長が見込まれる

 世界のGRC市場 *



 国内GRC・セキュリティ市場の成長

GRC+セキュリティが企業経営において標準化されている欧米に追いつくため、**速度の早い市場成長を見込む**



監督官庁や海外法律の規制等により
高水準のリスク管理を要する



事業において厳しい規制・基準が課される業種
で需要が顕在化



金融



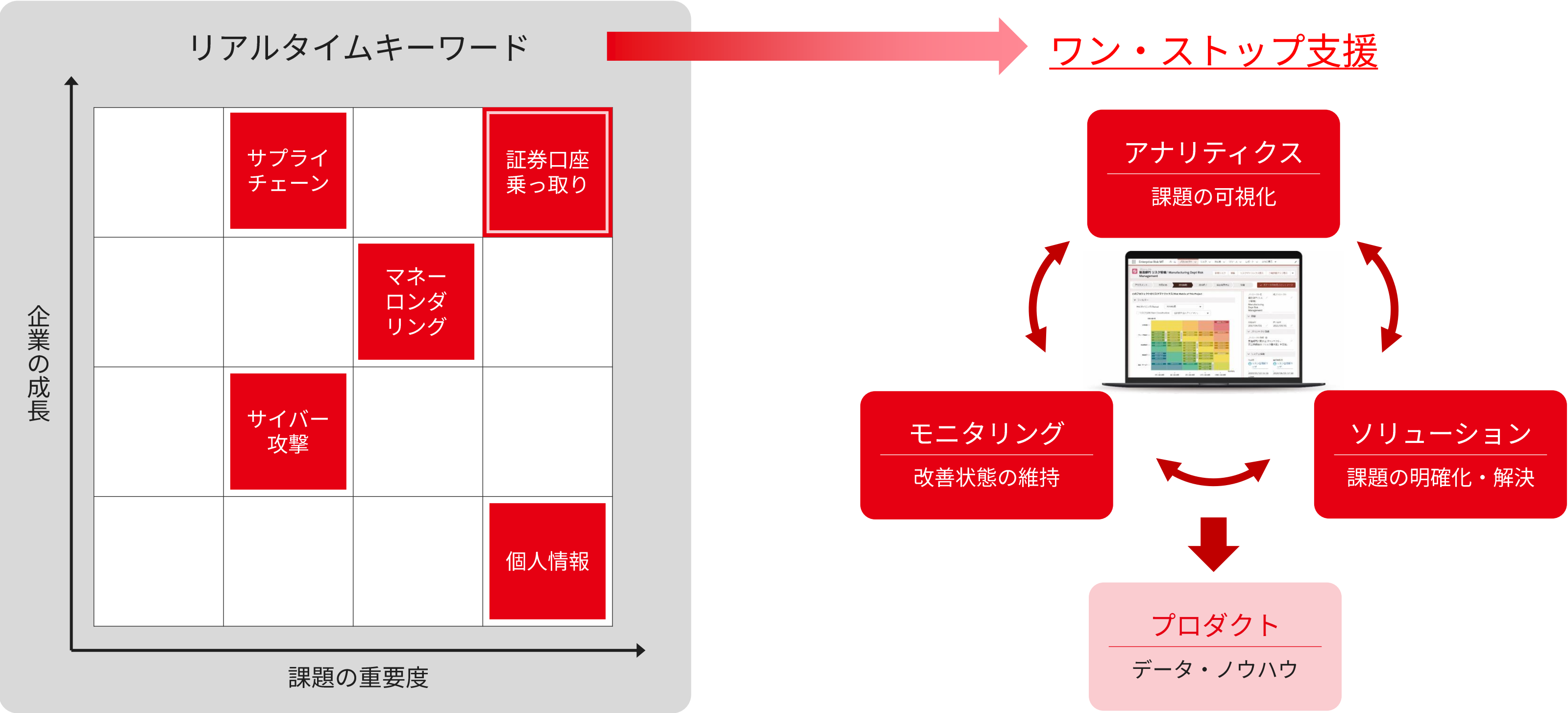
通信

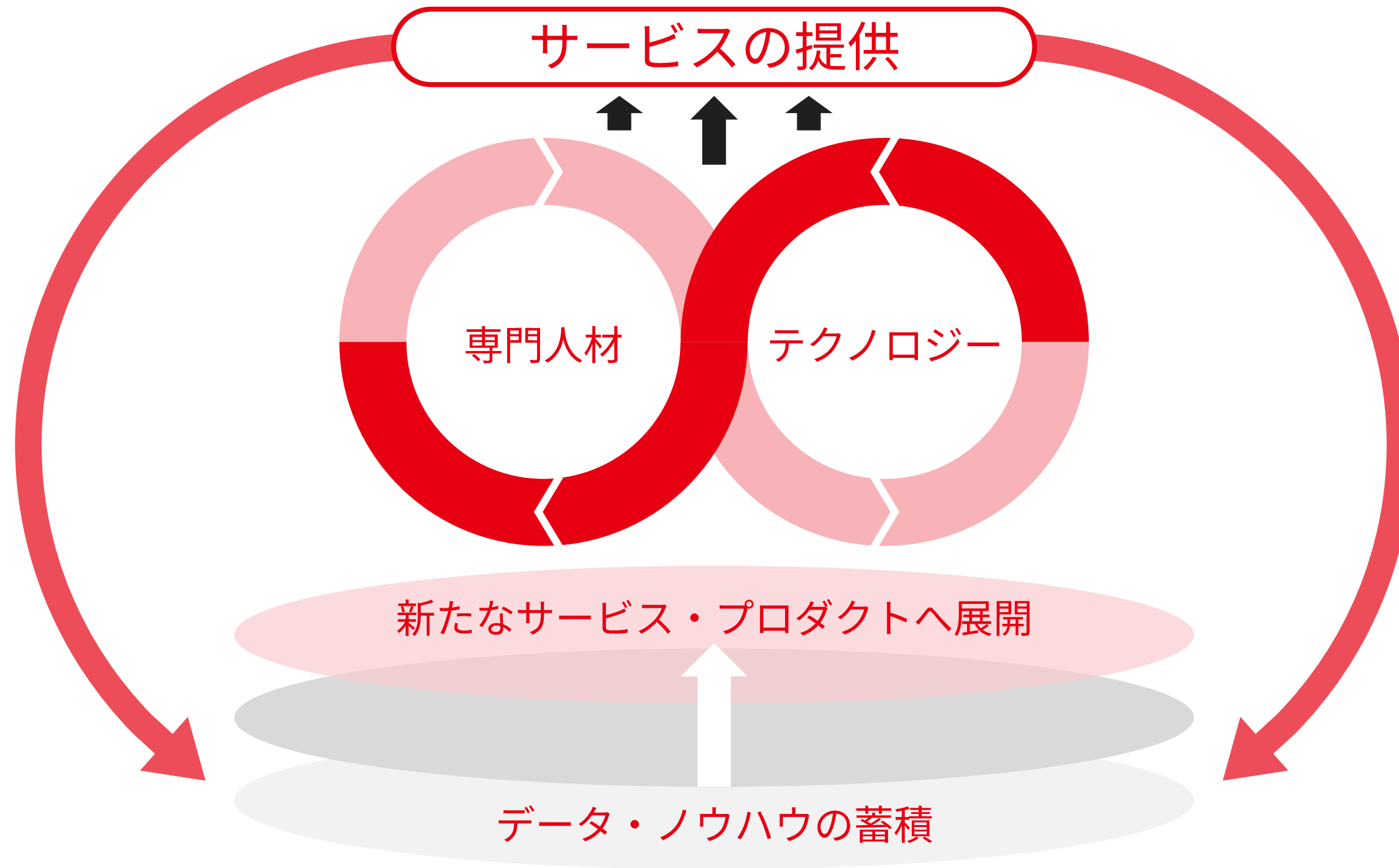


グローバル

※：Grand View Research/Enterprise Governance, Risk & Compliance Market Size, Share & Trends Analysis Report By Component, By Software, By Services, By Organization Size, By Vertical, And Segment Forecasts, 2022 – 2030より当社作成

- ✓ プロダクトの活用により、全社的な情報管理や共有を効率化 ⇒ 企業課題を可視化
- ✓ 分析、解決、維持をワン・ストップで支援 ⇒ 継続的なPDCAサイクルによりプロジェクトを積み増すフロー





- ✓ 200人規模の**専門人材**
- ✓ 国内有数の**GRC**専門企業
- ✓ **15年以上の実績**
- ✓ **ワン・ストップサービス**
- ✓ **グローバル金融テック**

経営の目が行き届く範囲を絞り体制を立て直すために、これまでの3事業を
コア領域のGRCセキュリティ事業と、成長を担うフィナンシャルテクノロジー事業の2事業体制へ原点回帰

GRCセキュリティ事業

GRC及びセキュリティの
視点で企業課題を解決

フィナンシャルテクノロジー事業

資本市場向け
高性能テクノロジーソリューション



www.grcs.co.jp